



分別解体の手順等について学んだ説明会
＝鹿児島市の県建設センターで

県土木部、県建設業協会、県解体工事業者協同組合共催の「建設リサイクル法改正に伴う説明会」は24日、鹿児島市の県建設センターで開かれ、関係業者など約300人が参加して、今月30日の建設リサイクル法完全施行を間近に控え、参加者は各講師の詳しい説明を聞き、分別解体の手順等について学んだ。

建設リサイクル法改正説明会 法規に基づく事業展開を 県土木部等

説明会には、講師に吉野達也県土木部技術管理課土木技師、岩下卓夫鹿児島市建設局建築部建築指導課審査第二係長の2氏が務めた。このうち、吉野土木技師は「主体は、受注者である業者のほうで、建設リサイクル法に基づいて事業展開をお願いしたい。また、届け出、分別解体、再資源化等には罰則があるので十分、注意してほしい」と話した。

県水道設計業協会（黒岩郁夫会長）は24日、鹿児島市の鹿児島ゴルフ倶楽部で第5回ゴルフコンペを開催し、会員、関係者を約60人が参加して熱戦を繰り広げた結果、園田さんが見事優勝した。

園田さんが見事優勝 県水道設計業協会ゴルフコンペ



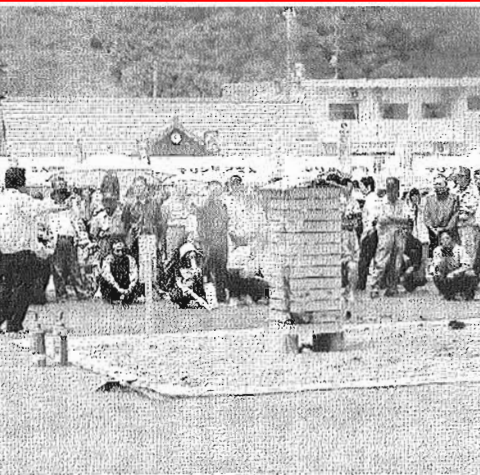
プレー前に記念撮影に納まる参加者
＝鹿児島市の鹿児島ゴルフ倶楽部で

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

鹿児島市内を流れる2級河川新川の改修事業に伴う橋梁整備事業として進めてきた唐湊橋の架け替えがこのほど終了し、24日、現地で完成式典が行われ、市関係者、施工業者、地域住民ら多数出席して完成を祝った。

式典に先立って執り行われた安全祈願祭では、赤崎義則鹿児島市長、森山鶴組の森山一行社長らが玉串を捧げて完成を祝うと共に、歩行者や車両等の安全を祈願した。引き続き、赤崎市長や上門秀彦同市議長らがテープカットを行い、同橋梁整備事業は、涙橋から湊橋までの約1600mの区間に架かる市道橋11橋を市が事業主体となつて整備を進めてきたもの。唐湊橋は総事業費約3億5200万円を

望んだ玄関口となる橋が完成したことは非常に喜ばしい。生活道路として大いに活用して頂きたい」と言葉を寄せた後、工事経過報告や感謝状贈呈などが行われた。



多くの来場者が注目した燃焼公開実験
＝喜入町の喜入ジャンボリサイクル市で

者と受注者間の契約手続き、分別解体の手順などの内容を分かりやすく説明したほか、岩下係長は鹿児島市の再資源化に関する状況報告などを解説した。

大島郡知名町から訪れた（株）甲斐組の甲斐昭孝会長は「噂では聞いていたが、これほど凄い物とは思ってなかった。常識を覆された感じがする。それに防蟻効果もあるらしく、白アリ被害が多い離島にとっては効果が期待できる」と語っていた。

「燃えない木材」に驚き
（株）クリスタル鹿児島（宮崎美弘社長、本社・喜入町）は、このほど、喜入町で開かれた喜入ジャンボリサイクル市会場で、噴霧するだけで木造建築物を火災から守る、ファイヤーレターデント防燃水は、建造物内の部材に噴霧することで、火災時の部材の燃焼率を大幅に低減することを可能としたもので、部材以外の紙や布などの天然素材にも効果が有り、引火点を著しく高めることで棟の全焼を防ぎ、全焼を回避することで住民の避難時間を確保する事ができる。また防蟻効果もあるほか、施工後3年間は1事故に対して200万円を上回るAIU保険会社の賠償責任制度が適用され、安全面も十分確保されている。

鹿児島市 唐湊橋が完成

住民待望の玄関口に



完成を祝いくす玉を割る赤崎市長ら（中央左）
＝鹿児島市唐湊の現地で

充て平成13年3月から整備。下部工は逆T式橋台、上部工はプレテンション方式PC単純床版桁の橋長16・8m、幅員15m。今回の完成で当初計画されていた11橋全てが完成したことになる。

なお、施工は下部工を（株）森山鶴組、上部工を日研高圧コンクリート（株）、橋面を（株）森山工務店が担当した。

当日は、早朝から大勢の来場者が訪れる中、午前と午後の2回にわたって実施。木造建築物を火災から守る難燃剤ファイヤーレターデント防燃水の燃焼実験では、「燃えない木材」を目の当たりにした来場者らは終始驚きの表情を見せていた。

また、前田会長は社会資本整備についても「都市を支えているのは地方中小建設業者の立場を念頭にいた協会運営を行っていく姿勢を示した。建設業法上の技術者制度についても「大手だけが有利にならないようにしたい」と述べた。

「燃えない木材」に驚き
（株）クリスタル鹿児島（宮崎美弘社長、本社・喜入町）は、このほど、喜入町で開かれた喜入ジャンボリサイクル市会場で、噴霧するだけで木造建築物を火災から守る、ファイヤーレターデント防燃水は、建造物内の部材に噴霧することで、火災時の部材の燃焼率を大幅に低減することを可能としたもので、部材以外の紙や布などの天然素材にも効果が有り、引火点を著しく高めることで棟の全焼を防ぎ、全焼を回避することで住民の避難時間を確保する事ができる。また防蟻効果もあるほか、施工後3年間は1事故に対して200万円を上回るAIU保険会社の賠償責任制度が適用され、安全面も十分確保されている。

は地方であり、地方を結ぶインフラ整備をあるところの考えを示した。また、ダンピングについて「受注防止策を早急に発信していきたい」と語った。

大手だけ有利 にならぬよう 前田新会長が会見

全 建

地方中小建設業者の再編問題に言及し、「入札契約適正化法を完全に運用すれば短期的に効く。発注者データベースをきつと使えば、優秀な技術者が他産業に移らなくて済む」と示した。

「バブル景気後に日本経済が崩壊しなかったのは継続的な財政出動のおかげ。改めて評価されるべき。構造改革は景気浮揚によって達成できる」と、公共投資の必要性を強調した。